

特別企画：ビッグモーターのサプライチェーン調査

## ビッグモーターのサプライチェーン企業は 410 社

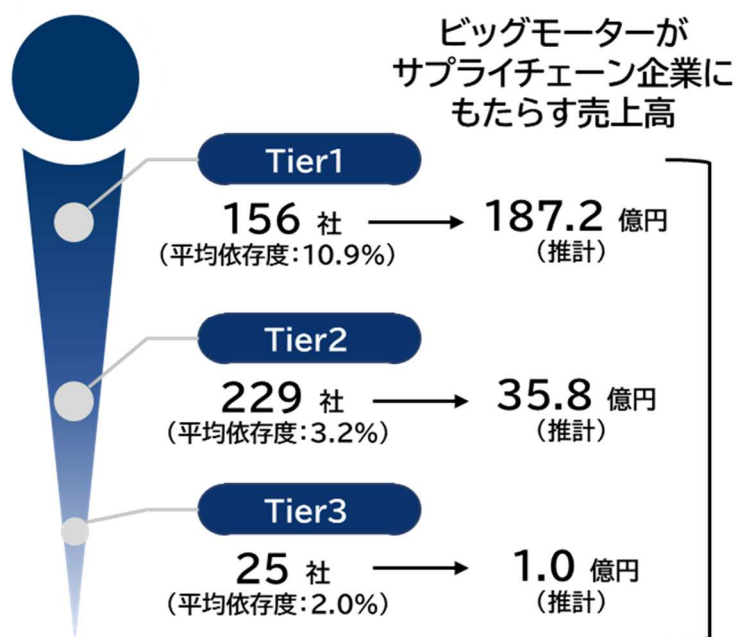
～ 部品、建設関連業種が上位、派生する売上高は 224 億円 ～

2023 年 7 月に修理代金の水増し請求が発覚して以降、中古車販売大手の（株）ビッグモーター（東京都港区）が揺れている。新たな疑惑も連日のように報道され、辞任を発表した前社長の会見での発言等もあって世論の反発は強く、業績悪化は免れない状況だ。業態柄、個人との売買取引が中心となる同社だが、部品供給や店舗建設など、仕入や下請け業務に関わるサプライチェーン企業も少なからず存在する。ビッグモーターの業況が悪化すれば、こうした企業への影響も避けられないだろう。

帝国データバンクでは、保有する「商流圏～売上高依存度推計データ」(※次ページ)をもとに、ビッグモーターに対し、部品などのモノやサービスを提供する周辺産業（商流圏）の特徴や取引規模を 2023 年時点のデータを基準に推計した。

### 調査結果

- ビッグモーターを頂点としたサプライチェーン企業（売上高の 1%以上を依存している企業）は、全国に 410 社あると推計される。直接取引のある Tier1 は 156 社。間接取引のある Tier2、Tier3 はそれぞれ 229 社、25 社。
- サプライチェーン企業にもたらされる売上高の合計は 224 億円に上る。
- 業種では、「自動車部品卸」や店舗建設に関わる「建設業」が上位に。



#### ※サプライチェーン（SC）企業の定義について

帝国データバンクが特許を取得した「個別企業間の全取引シェアを推計するモデル（NIHACHI）」を用いて、任意の頂点企業に対して売上の1%以上を依存している企業

#### 商流圏～売上高依存度推計データについて

上記「個別企業間の全取引シェアを推計するモデル」を用いて、任意の頂点企業における商流上（サプライチェーン）の傘下企業や取引企業において、各社の売上高が頂点企業にどの程度依存しているかを算出（特許取得済）したデータ

頂点企業の直接取引先（Tier1）だけではなく、頂点企業と直接取引がないTier2（二次取引先）以降の間接取引でも売上高依存度を把握でき、頂点企業との取引額を推計できる点の特徴

### サプライチェーン企業の業種 ～自動車部品卸、建設関連が上位

ビッグモーターのサプライチェーン企業を業種別に見ると、店舗での整備業務等に関わる「自動車部分品・付属品卸売業」が40社で最も多く、全体の約1割を占めている。次いで「建築工事」が22社、「内装工事」が20社と続き、店舗建設に関わる建設（工事）関連業種が上位を占めていることが分かった。

部品卸や運送業、中古車小売業者など自動車に関わる業者のみならず、全国に260店舗以上と多店舗（大規模店舗）展開の戦略を採っていることから、上述のような建設業者がサプライチェーン全体の4割超（171社）を占めていることも特徴のひとつといえる。

#### 業種別社数・上位

業種	社数
自動車部分品・付属品卸売業	40
建築工事業	22
内装工事業	20
土木工事業	13
一般貨物自動車運送業	13
中古自動車小売業	12
受託開発ソフトウェア業	12
鉄骨工事業	11
とび工事業	9
金属製建具工事業	8

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 箕輪 陽介

03-5919-9341（直通）yousuke.minowa@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。